

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

国内エクスプローラープログラム

第2回募集要項（2020年度版）

臨地教育・国際連携支援室

新型コロナウイルスの流行によって海外渡航が困難となっていることに鑑み、国内での移動を伴う調査や資料収集等の一部を支援する「国内エクスプローラープログラム」を実施します。なお、いったん採択された場合でも、新型コロナウイルスの流行動向や本学の活動方針によって採択を取り消すことがありますので予め了承下さい。

1. 概要

- (1) 主に予備論文提出前の学生が国内でフィールドワークや資料収集をおこなったり、技術習得や社会経験としてのインターンシップなどを実施することを支援するプログラムです。予備論文提出後の学生や3年次編入生も応募可能ですが、応募多数の場合、採択の優先度が低くなります。
- (2) 出張期間など一定の条件を満たす場合、「アジア臨地演習」、「アフリカ臨地演習」もしくは「グローバル臨地演習」科目の単位認定の対象となります。単位認定の基準については指導教員に確認して下さい。
- (3) 本プログラムは、『海外拠点の機能強化による「アジア・アフリカ地域対応の高度グローバル人材育成」事業』などの資金より支給します。

2. 応募資格および採択の条件

- (1) 本研究科に在籍する大学院生

休学中の学生および日本学術振興会（学振）特別研究員は申請できません。ただし、休学中の学生で、派遣時までには復学する予定の者は、申請を認める場合があるので、申請前に支援室にその旨を相談して下さい。学振以外の研究助成や奨学金を受給している院生については応募を認めます。

- (2) 学位研究と関連した調査・資料収集等であること

申請者の学位研究との関連がきちんと説明されていない研究計画は、原則として採択しません。なお、研究科正規科目として単位認定の対象となる国内調査を優先的に採択しま

す。単位認定の対象となるのは、合計して5日以上の調査日程を含む国内臨地研究です。

(3) 調査の準備状況を説明できること

調査日程や受入機関が確定していなくても応募できますが、準備状況が良好と思われる申請を優先的に採択します。

(4) 新型コロナウイルス感染への対策が考慮されていること

対面での調査を予定している場合、密集を避けるなど新型コロナウイルスへの適切な感染対策を講じることを求めます。なお優れた研究計画であっても、調査を予定している地域の流行動向や本学の活動方針その他の事情を勘案して採択を見送ったり、採択を取り消すことがあります。

参考：京都大学の新型コロナウイルス感染症への対応

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/>

3. 募集人数

第2回募集で15名程度を予定

4. 支援内容

(1) 対象となる出張

国内での移動を伴う調査、資料収集、インターンシップで、2021年3月15日までに実施するものが対象となります。目的が同じであれば、複数回にわたる出張を一つの研究計画に含めて申請することもできます。

(2) 対象となる経費

日当と宿泊費を合わせた1日の上限5000円（調査内容等を鑑みたうえで減額する場合あり）および交通費（実費）を支給します。他の経費は支給しません。

5. 申請と採択通知

海外エクスプローラープログラムとは異なり、申請前のエントリーは不要です。記入済みの申請書を電子メールにて支援室 shien-app@asafas.kyoto-u.ac.jp 宛てに送信して下さい。件名は必ず「国内エクスプローラー申請」として下さい。また、必ず指導教員にCCして下さい。第2回募集は1月以降に開始する調査を対象とします。第2回の募集締切は11月27日12:00JSTとします。

申請書は選考委員会において厳正に審査し、結果を電子メールで通知します。選考委員会から申請書や旅程等の変更を指示された場合は、速やかに修正した研究計画書を提出して下さい。

6. 実施上の注意

新型コロナウイルス感染対策として、出張中の移動経路や訪問先、調査で接触した相手の氏名と連絡先等の記録をとるようにして下さい。

7. 採択後の提出書類

(1) 出発前の提出書類

原則として出発の 2 週間前までに、支援室に宛てて旅行伺と国内臨地研究届を提出する必要があります。複数回の出張を実施する場合は、そのたびに旅行伺を提出してもらいます。詳しくは採択後に連絡します。

(2) 報告書の提出

計画した出張をすべて完了した日から 3 週間以内にエクスプローラープログラムの報告書を提出する必要があります。未提出者は今後、支援室が実施する全てのプログラムに対する申請を認めません。報告書の書式は支援室のウェブページに掲載します。

8. 採択後の計画変更について

申請が採択された後に調査日程等の変更を希望する場合は、必ず事前に指導教員と支援室に相談して下さい。調査目的の変更など、調査内容が大幅に変更される場合は採択を取り消す場合があります。

9. その他注意事項

- (1) 申請書の提出にあたっては、指導教員とよく相談して下さい。
- (2) 研究以外の目的での旅行と組み合わせることはできません。
- (3) 本プログラムに関する問い合わせは、電子メールで支援室宛てに送信して下さい。

支援室メールアドレス shien@asafas.kyoto-u.ac.jp